

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600234		
法人名	医療法人 至慈会		
事業所名	グループホームほのぼの		
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字戸ヶ里1831番地18		
自己評価作成日	平成 23年 1月 10日	評価結果市町村受理日	平成23年3月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成23年1月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

木材を基調とした建物になっており、落ち着いた雰囲気、の漂う造りになっています。吹き抜けのある明るい廊下や、庭を一望できる食堂が特徴です。また、母体が医療法人で協力体制が整っているため、助言を受けたり身体の変化にすぐに対応できますので、ご本人・ご家族ともに、安心して入居できます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

法人は医療法人で同じ敷地内に病院と介護老人保健施設がある。ホームは木造で落ち着いた雰囲気の二つのユニットが渡り廊下でつながり、自由に行き来が出来、容易に交流が出来る。母体の病院は地域の中心的病院で、利用者は体調に不安があるときはすぐに診察が出来、家族の安心感を得ている。又、地域とのつながりを重視して運動会に参加したり、年末のもちつきには近所の人たちを招待して交流に努められている。介護の面では、それぞれのユニットが入居者の状態に応じてさまざまな活動や介護の工夫をされ、一人ひとりの力量に合わせた介護サービスを提供し、思い思いの生活を支えられるよう取り組まれている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印			項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
	東棟	西棟			東棟	西棟	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(東棟)	自己評価(西棟)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人らしさを大切にし…という理念のもと職員間で共有し、実践に努めている	理念に沿い、その人らしくすごして頂ける様、努力している	ホーム独自の理念を掲示し、スタッフは理念をカードに記して常に携帯し実践に努められている。また、ユニットごとに行動計画を定め、ミーティングで評価されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一部の方ではあるが、地域行事に参加することはできたが、日常的交流はまだまだ足りないように思う	一部の方ではあるが、地域行事に参加することはできたが、日常的交流はまだまだ足りないように思う	地域の運動会に参加したり、年末の餅つきには近所の人たちを招待し、交流に努められている。	行事での交流だけでなく、日ごろからの交流が持てるような工夫や、取り組みが期待される。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業としては活かしかけていない。病院の地域連携室との連携は図っている	事業所としては、なかなか活かせていないが、今後はたらきかけをしていきたいと考えている	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見等、ミーティングで話し合い、活かす努力をしている	運営推進会議での意見等、ミーティングで話し合い、活かす努力をしている	2ヶ月に1回の開催で、家族、社協、地域包括、民生委員等との意見交換で、サービスの向上に努められている。	地元地域の区長や行政嘱託員、近隣住民など、地域住民の代表などの参加が望まれる。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月に1回ある運営推進会議に出席していただき、協力関係を築くよう努めている	2ヶ月に1回ある運営推進会議に出席していただき、協力関係を築くよう努めている	地域包括支援センターや行政の担当窓口である長寿社会課とは常に連携し、情報交換を行い協力関係を築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、主治医やご家族の意見、本人の安全を考え、行動を抑制する場合もある	できるだけ取り組んではいるが状況により医師、家族の指示の元に施錠、身体拘束をする時もありえる	ホーム内で研修会を行い、理解に努められている。又、マニュアルを整備し、日々の声掛けについても、行動を抑制するような言葉にならないように工夫されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	認識はしているが、まだ全体で学ぶ機会はまだない	認識はしているが、まだ全体で学ぶ機会はまだない	/	/

自己	外部	項目	自己評価(東棟)	自己評価(西棟)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、制度を利用されている方はおられない。全体として学ぶ機会がもてていない。認識に関し、個人差があるので、今後勉強していきたいと考えている	現在、制度を利用されている方はおられない。全体として学ぶ機会がもてていない。認識に関し、個人差があるので、今後勉強していきたいと考えている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族に対する説明は、管理者が対応している	家族に対する説明は、管理者が対応している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置、苦情窓口を重要事項説明書に記載、契約の際に苦情、相談等の説明も行っている。面会の際には職員が情報交換をしながら、相談等に応じる	意見箱の設置、苦情窓口を重要事項説明書に記載、契約の際に苦情、相談等の説明も行っている。面会の際には職員が情報交換をしながら、相談等に応じる	意見要望の窓口を明示し、職員が常に家族の話を聞いている。また、家族だけで話す時間を設け、自由な意見が出やすいよう配慮し、出た意見は運営に反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	できている(個人面談等) 全体ミーティングの実施	個人面談をしている 全体ミーティングを行っている	年に2回個人面談を行い、職員のさまざまな意見に耳を傾け、職員の思いを把握するとともに、サービスの向上に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	積極的に向上心がもてるように環境や条件の整備をさせていただいている	積極的に向上心がもてるように環境や条件の整備をさせていただいている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等を受ける機会できている	積極的に研修に行く機会がある		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	3ヶ月に1回地域連携協議会がある。 主に出席は管理者だが、他の職員の参加もできる	3ヶ月に1回地域連携協議会がある。 主に出席は管理者だが、他の職員の参加もできる		

自己	外部	項目	自己評価(東棟)	自己評価(西棟)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、面談の実施 ご本人の言葉や思いに耳を傾け、本人が安心して生活できるよう努めている	入居前、面談の実施 ご本人の言葉や思いに耳を傾け、本人が安心して生活できるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前、入居時 現在の状況や今後の意向など話をする機会をもうけ、関係作りに努めている	入居時や面会時は常に家族の方へ声かけを行い、情報の共有に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に、ご家族より基本情報をもとに要望を聞き、本人の支援提供に努めている	入居時に、ご家族より基本情報をもとに要望を聞き、本人の支援提供に努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者それぞれの状況にあわせ、ともに過ごし支えあう関係が築けるよう努力している	入居者それぞれの状況にあわせ、ともに過ごし支えあう関係が築けるよう努力している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事や面会の際、情報交換を行いながら、ご本人の現状を理解していただき、共に支えていく関係を築く努力をしている	行事や面会時に、ご家族との話をもちながら楽しい時間をすごして頂く様、支援している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の要望にできるだけこたえる様に努力している	本人の要望にできるだけこたえる様に努力している	面会に来られる家族や古くからの知人など、関係の継続が保たれている。また、本人の希望に応じて、なじみの理美容室の利用なども支援されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	見守りながら利用者同士がスムーズに関わりがもてるよう、介入や援助をするよう努めている	見守りながら利用者同士がスムーズに関わりがもてるよう、介入や援助をするよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価(東棟)	自己評価(西棟)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	面会に行く等、必要に応じ行っている	場合によっては面会に行く		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できるかぎり意向に沿えるよう、努力している	基本情報に基づき意向に沿う様努めている	日常の会話や表情から読み取る が、なかなか把握できない場合は 家族等からの情報を踏まえ、ミー ティングで意見交換しながら本人本 位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の基本情報や日々の会話の中で、これまでの暮らしの把握に努めている	入居時に家族様をまじ話し合っている 日々かかわる中で見えてくるものもある ので、できるだけ多く関わりをもつ ようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録や個人ノートを活用し、現状の把握、情報の共有に努めている	日々の記録や個人ノートを活用し、現状の把握、情報の共有に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員でのカンファレンスは実施しているものの家族様に加わって頂いては いない 面会時に情報の共有に努めている	職員でのカンファレンスは実施しているものの家族様に加わって頂いては いない 面会時に情報の共有に努めている	担当者会議にて、関係者が意見を 出し合い、介護計画を作成してい る。3ヶ月、6ヶ月の期間ごとの見直 しや、現状に即した介護計画とな るよう随時見直しをされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録 個人ノートの記入	日々の記録、個人ノートを活用し計 画に活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ホーム内でできるサービスにとどま っている。 他は病院でのリハビリ程度	ホーム内でできるサービスにとどま っている。 他は病院でのリハビリ程度		

自己	外部	項目	自己評価(東棟)	自己評価(西棟)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議の開催や、地域ボランティアの方々の慰問を受け、入居者様の暮らしが支えられていると思う	運営推進会議の開催や、地域ボランティアの方々の慰問を受け、一人ひとりにあった支援提供をしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院併設であり、いつでも医療を受けられる体制をとっている。月1回の往診も実施している	月1回往診をしてもらっている体調不良時は随時TEL連絡、受診している	主治医の選択やかかりつけ医の継続については、本人、家族の希望によるが、入居者が常に必要な医療が適切に受けられるよう支援されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者様の異変や気づきは、日々の記録や個人ノートに記載し、看護師へ必ず報告しながら、受診や看護が受けられるよう努めている	入居者様の異変や気づきは、日々の記録や個人ノートに記載し、看護師へ必ず報告しながら、受診や看護が受けられるよう努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関へ入院された場合、担当のDr.看護スタッフと情報交換を行い、ご家族と協議の上で正式に退居、もしくは再入居かを決定する。適宜情報交換は行う。	医療機関へ入院された場合、担当のDr.看護スタッフと情報交換を行い、ご家族と協議の上で正式に退居、もしくは再入居かを決定する。適宜情報交換は行う。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療による支援が必要な場合、ご家族と主治医を交え協議し、方針を共有している	医療による支援が必要な場合、ご家族と主治医を交え協議し、方針を共有している	看取りの指針を定めて家族に説明されている。常に家族と医療機関との話し合いのもと、方針を共有し連携して取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AED等勉強はしている 定期的には行っていない 対象者が出た場合は訓練を行う 急変時はホームNsに連絡する様にしている	AED等勉強はしている 定期的には行っていない 対象者が出た場合は訓練を行う 急変時はホームNsに連絡する様にしている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を行っている	年2回防災訓練を行っている	年に2回の防災訓練は消防署との連携のもとに行われているが、地元消防団とのかかわりや地域住民の協力関係の構築には至っていない。	近隣住民や消防団とは有事の際には、協力が得られるような日頃からの関係作りが望まれる。

自己	外部	項目	自己評価(東棟)	自己評価(西棟)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方に合った言葉かけを行うように心がけている	その方に合った言葉かけを行うように心がけている	一人ひとり、または、場面場面にに応じてプライドを傷つけないような声かけになるよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できる限り、自己決定できるような言葉かけや見守りを行うよう努めている。	働きかけている 本人の意思のもと取り組みを行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できる限り、一人ひとりのペースに合わせ、過ごすことができるよう努めている	できる限り、本人の思いに添える様努力はしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	活動状況や、本人の希望に応じた身だしなみやおしゃれができるよう努めている	できない方にはケアをしている。出来る方には自分でしていただいている 髪染め等は希望によりスタッフが支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配ぜんや片付け、簡単な食材切り等は入居者様と職員と一緒にしている。また、色々な物を食べていただけるような食事内容になっている。	本人の好みとばかりは言えないが畑でとれた野菜を使った料理、漬物等は一緒にしている	ホームの畑で採れた野菜を使ったり、準備などは出来る人にはやってもらい、食事は一緒に同じものを食べながら、楽しい食事となるよう工夫されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量等、必ずチェックし補水を心がけながら、一人ひとりの状態に合わせ、対応している。	食事の摂取量等、必ずチェックし補水を心がけながら、一人ひとりの状態に合わせ、対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分でできる方には見守りにより、口腔ケアをしていただき、ご自分でできない方は、職員が介助することで口腔ケアを実施し、口腔の清潔保持に努めている。	ご自分でできる方には見守りにより、口腔ケアをしていただき、ご自分でできない方は、職員が介助することで口腔ケアを実施し、口腔の清潔保持に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価(東棟)	自己評価(西棟)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	その方に応じた支援を行っている	自立の方に対してはしているがオムツ使用の方は定期的トイレ誘導している	排泄表をもとに一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間ごとに誘導されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘症の入居者様には主治医と相談の上、内服による排便のコントロールや水分の出納、食事形態の工夫、適度な運動を勧め、便秘予防に努めている	便秘症の入居者様には主治医と相談の上、内服による排便のコントロールや水分の出納、食事形態の工夫、適度な運動を勧め、便秘予防に努めている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	原則、入浴は1日おきだが、毎日入浴はできる体制を整えているなるべくご本人の希望に応じた入浴を心がけている	本人の希望に合わせて入浴できる体制はできている	朝から夕方までの入浴時間内で入りたい時に入浴できるように対応されている。夜間での希望がある場合も個別に対応されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なかなかお休みいただけない方には、適宜足浴やホットミルクの飲用や談話することで、心地よく入眠されるよう努めている	なかなかお休みいただけない方には、適宜足浴やホットミルクの飲用や談話することで、心地よく入眠されるよう努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬ノートを活用し、不明な点は主治医や薬剤師に確認をとりながら、服薬内容の確認、支援に努めている。	お薬ノートを活用し、不明な点は主治医や薬剤師に確認をとりながら、服薬内容の確認、支援に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や能力を理解し、それぞれの特技が活かせるようなレクリエーションや野外活動等を取り入れ、各自が楽しむことができるよう努めている	一人ひとりの生活歴や能力を理解し、それぞれの特技が活かせるようなレクリエーションや野外活動等を取り入れ、各自が楽しむことができるよう努めている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の要望に対しては、できるかぎり、ご本人の希望に沿うよう努めているが、できないこともある。また、職員だけでなくご家族の協力を得て、実施している	外出の要望に対しては、できるかぎり、ご本人の希望に沿うよう努めているが、できないこともある。また、職員だけでなくご家族の協力を得て、実施している	その日の天候や希望に応じていつでも外出を支援できるように、ホーム専用の車も配置されている。	

自己	外部	項目	自己評価(東棟)	自己評価(西棟)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の意思により、小遣い銭程度の金額は、ご本人で管理して頂いているが、金銭管理が困難な方には、事務管理し、いつでも使えるよう支援している	ご本人の意思により、小遣い銭程度の金額は、ご本人で管理して頂いているが、金銭管理が困難な方には、事務管理し、いつでも使えるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様が自由に使えるよう、公衆電話を設置している。ご自分で電話をかけることができない方に関しては、ご本人の希望に合わせ、支援している	入居者様が自由に使えるよう、公衆電話を設置している。ご自分で電話をかけることができない方に関しては、ご本人の希望に合わせ、支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は入居者様にとって、心地よく使用して頂けるよう配慮し、季節感も取り入れて居心地良く過ごして頂けるよう努めている	共用の空間は入居者様にとって、心地よく使用して頂けるよう配慮し、季節感も取り入れて居心地良く過ごして頂けるよう努めている	リビングや共用空間は大きな窓や天窓からの明かりで、十分な明るさを確保し、空調や床暖房で暑い夏や寒い冬でも快適に暮らせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはソファ、ベンチ等を設置し、思い思いに過ごしていただけるよう工夫している	共用空間にはソファ、ベンチ等を設置し、思い思いに過ごしていただけるよう工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様ご愛用の品々を持ち込んでいただき、居心地良く過ごせるよう支援している。ご自分で工夫される方もいらっしゃる	入居者様ご愛用の品々を持ち込んでいただき、居心地良く過ごせるよう支援している。ご自分で工夫される方もいらっしゃる	フローリングの部屋、畳の部屋があり、入居者が好みのものや、なじみの物を持ち込んで、安心して暮らせるよう支援されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内には、適宜手すりを設置しており、安全な生活ができるよう、工夫している。また、名前の記載によりご本人が自ら自室を認識できるよう工夫している	ホーム内には、適宜手すりを設置しており、安全な生活ができるよう、工夫している。また、名前の記載によりご本人が自ら自室を認識できるよう工夫している		